

秋田の教育・仙北市の暮らしを体験

秋田県の教育や仙北市の暮らしを体験する「家族留学」が8月4日から4日間の日程で実施されました。家族留学は、仙北市と市農山村体験推進協議会が県教育委員会の協力を得て企画したもので、県外の小中学生とその家族が市内を訪れ、学力全国トップレベルの基礎となっている「探究型学習」を体験するとともに、仙北市の観光や自然、農山村の暮らしも体験することで市の魅力を感じてもらい、関係人口の増加や家族ぐるみでの移住定住を促進する目的もあります。今年1月に続いて2回目の実施となり、今回は特にわらび座の俳優の方々に指導を受ける演劇体験が4日間すべてに盛り込まれ、首都圏のほか大阪や和歌山、長崎から8家族18人の参加がありました。

入っているのか」など、今回自分が探究していく課題問題を設定し、みんなで共有しました。その後実際に田沢湖クニマス未来館で生きたクニマスの観察や館内展示を調査し、設定した課題の解決方法についてそれぞれ考え、発表し合いました。

また、保護者は、ビール工場見学や武家屋敷、抱返り溪谷の観光のほか、「思い出の湯分校」で伝承話を聞くなど、市の自然や歴史、観光スポット巡りを楽しみました。そのほか、田沢湖ではカヤック体験や地元食材を使ったパーベキューを楽しみ、宿泊先の市内農家民宿では夏野菜や果物の収穫体験など、田舎の暮らしを体験しました。

最終日には、子どもたちが4日間練習した演劇の成果をわらび劇場のステージで披露し、感動と拍手で家族留学は終了しました。

歴史的なまちづくりを考える

角館町割400年記念シンポジウム

新型コロナウイルス感染症の影響で開催を2年延期していた角館町割400年記念シンポジウムが7月31日、角館交流センターで開催されました。当日は、3部構成となり、第1部では「角館・御家断絶と再興事件」と題して、民衆思想史研究所代表の江井英雄さんによるビデオ出演での講演がありました。第2部では「秋田藩角館の変遷」と題し、国立歴史民俗博物館の天野真志准教授による基調講演が行われました。第3部では山形大学の永井康雄教授をコーディネーターに、角館伝建群保存地区の町並みを守る会の石黒直次会長、仙北市角館町文化財保護協会の中田達男会長、安藤雄介角館小学校PTA会長、文



天野真志准教授による基調講演。

自然や環境を守るために

クリーンアップを実施

8月7日、角館漁業協同組合の若手組合員によるルアーフィッシングクラブ[P.M.C KAKUNODATE]（仲野谷秀樹会長）が、鶴ノ崎橋から横町橋にかけて、桧木内川河川敷のクリーンアップ活動を行いました。

仲野谷会長は、「近年、社会問題となっている海洋汚染原因のプラスチックゴミが多く散乱しており、黒マルチビニールや破損したスノーダンプも流れ着いていた。これからは我々アングラードだけではなく、皆で自然を大事にすることが重要で、クラブとしてもその一躍を担えればと思っています」と話しました。



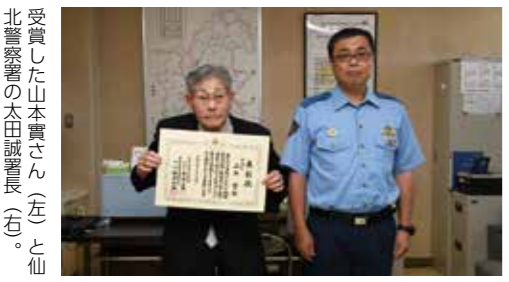
「P.M.C KAKUNODATE」の皆さん。

栄光・表彰

山本實さん（角館町山谷川崎）が東北管区警察局長と東北防犯協会連絡協議会より安全安心な地域づくりに貢献されたとして表彰され、8月5日、仙北警察署長より伝達を受けました。山本さんは、昭和50年から防犯連絡員として地域の防犯活動に積極的に携わり、40年以上にわたり中川支部内での小学生の見守り活動などに取り組んできました。平成18年には仙北市防犯協会の理事に就任、また同協会中川支部副支部長として、市内防犯活動を通して安全安心なまちづくりに貢献されてきました。山本さんは「警察との連携を大事に、犯罪被害をなくしたいという思いでこれまで防犯活動を行ってきた。長い間、かかわらせてもらったことが評価され感謝している」と話しました。

東北管区防犯功労者表彰

山本實さんが受賞



受賞した山本實さん（左）と仙北警察署の太田誠署長（右）。

表現力やコミュニケーション力の向上を目指す

子ども演劇体験講座2022

8月4日〜7日の4日間、あきた芸術村の稽古場とわらび劇場を会場に「子ども演劇体験講座2022」が行われました。この講座は演劇体験を通じて、楽しみながら表現力やコミュニケーション力の向上を目指す取り組みで、毎年夏休みの期間に実施しています。今年も仙北市内の小学4年生から高校1年生までの7人に、秋田の教育や生活を体験する「家族留学」に参加した小学1年生から5年生までの8人が加わった計15人でわらび座ミュージカル「風子、飛べー」の一場面に取り組みました。講師は、わらび座俳優であり脚本・演出を手掛けた渡辺哲さん、同作に出演の瀬川舞巴さん・インストラクターの斉藤和美さん。劇中歌や台本読みなどを通して、声の出し方や感情の込め方、体の動きかき方などの指導を受け、試行錯誤しながら練習



探究型学習の様子。みんな真剣に考えてくれました。



農家民宿での収穫体験。ブルーベリー・沢山とれたよ！(虫も)



家族でカヤック体験。田沢湖ブルーを堪能しました。



最後はみんなで集合写真！

韓国外交部長官表彰

茶谷十六さんが受賞

7月24日、茶谷十六さんが韓国外交部長官表彰を受賞されました。8月4日には田沢湖庁舎を訪れ、田口市長へ受賞の報告をされました。この表彰は、秋田県では2人目の受賞で、長年にわたって韓国と日本との学術・文化交流に取り組みされた実績などが評価されたものです。茶谷さんは大学で朝鮮史を専攻、5年間の高校教師生活を経験し、その後わらび座に入座、民族芸術研究所員として朝鮮や韓国の歴史や芸能・文化について多数の論文を執筆、日本国内はもとより韓国の学会や研究会などで発表するなど活躍されてきました。報告に訪れた茶谷さんは、「この受賞がきっかけとなって、仙北市と韓国との文化交流が活発になり、姉妹都市締結などに繋がればありがたい」と語りました。田口市長からは、「これまでの活動に対する敬意とともに」「生保内発電所建設工事や田沢湖姫観音像建立に関わる歴史を、わらび座の舞台を通じて後世に伝えていただければありがたい」と、今後の活躍への期待が語られました。



韓国語（ハングル）と日本語の表彰状。